

## 令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	次世代ソフトウェアエコシステムのための基盤・展開技術
研究代表者	松本 健一 (奈良先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p><b>【課題の概要】</b></p> <p>本研究は、高い経済性と持続可能性を有するソフトウェア開発運用技術の確立を目指し、今日の技術的課題を、技術的負債の増加・人的資源の不足・技術情報の多様化と整理した上で、その解決をプロダクトのアップサイクリング、人と AI の適材適所配置、外部技術情報ともリンクする品質管理、という新しい着想により行うものである。</p> <p><b>【学術的意義、期待される研究成果等】</b></p> <p>本研究が実現を目指すソフトウェアエコシステムは社会的に強く望まれているものであり、その波及効果は大きい。3つの課題に対する解決手法はいずれも高い独創性を有するもので、本研究の学術的意義も高い。</p>